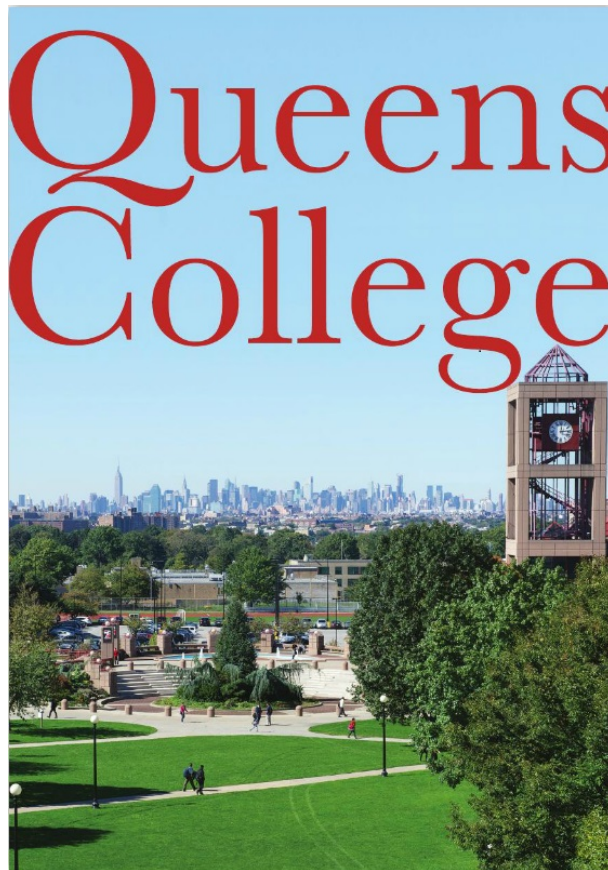


豊橋技術科学大学グローバル工学教育推進機構

QC だより

(第 20 号 平成 28 年 1 月 18 日)



■ 主要活動報告

ニューヨーク生活の思い出

東京高専 市川裕子

クイーンズカレッジでの研修が終わりました。ニューヨークという場所で、様々な人と出会い、様々な経験をし、研修仲間との絆を深め、本当に貴重な時間を過ごして参りました。夢のような半年でした。今回はその中から、最終プレゼンテーションについて、学生との試験勉強について、プライベートの時間に頑張っていたピアノの演奏について書きたいと思います。



Wrap up Presentation

(1) Wrap up Presentation

まず、クイーンズカレッジでの研修の一つに、我々 FD 教員用の Teaching in English(TIE)という授業がありました。この授業では、英語で教える、ということテーマに、文化の多様性をどのように受け入れるか、教育にテクノロジーをどのように活用するかなどのディスカッションを行ったり、実際にクイーンズカレッジで教えている日本の教授の話の聞いたりしました。そしてその授業の最後の課題が、英語でのプレゼンテーションでした。テーマは自由、一人 15分。豊橋での研修の最後6月にも15分のプレゼンテーションを行ったのですが、その時はとにかく人前で英語で話さなければいけないことに対する恐怖が大きかったのですが、今回は恐怖を感じることはなく準備ができました。本番の前の TIE 授業で、各自の発表練習を行いました。それ以外にも教室を借りて自主練習。特に Jennifer 先生が発表練習に付き合ってください、いろいろ助言をいただきました。私は「音楽の中の数学」というテーマで、音とサインカーブの関係、平均律と純正律の話、和音がなぜ美しく響くかから始め、フーリエ解析の紹介をしました。練習の甲斐があり、本番が一番自分自身納得のいくプレゼンテーションができました。この経験により、人前で英語で話をするに対しての自信が持てるようになったと感じています。私たちの目標は英語

で授業をできるようにすることです。それに向けて一歩前進したなと思いました。

(2) 学生との勉強

秋学期の授業で私が単位取得に選んだ科目は「線形代数 II」でした。担当は Kenneth Kramer 教授。教科書は使わずに授業が進みますが、丁寧な板書ときっちりとした説明で授業が進んでいきます。もったいないことに、受講学生は10人以下です。教授も学生たちも私を快く受け入れてくれ、次第に親しく会話するようになりました。ある日 Kramer 教授から「Yuko 日本の数学者ヒロナカを知ってる？」と聞かれました。知らないはずありません。なんと彼はハーバード大学で広中平祐から Calculus を教わったそうです。

この科目では4ヶ月の間に中間試験が2回、レポート1回と最終試験がありました。クラスの学生が、「みんなで試験のための勉強するんだけど Yuko も来る？」と誘ってくれたので、私は英会話のチャンス！と喜んで参加しました。土日の教室であったり、数学科の談話室であったり、図書館であったり。数学ですので、私は主に教える役目でした。「Yuko この証明これで大丈夫？」「この証明がよくわからないんだけど。」などなど、学生さんたちは私が拙い英語で説明するのを一生懸命聞いてくれ、「OK 何が言いたいか分かった。」と言ってくれます。まだまだ流暢に、とはいきませんが、数

学なら伝えられるという自信が少し持てるようになりまし。

さて、12月に数学科のパーティーがあり Kramer 教授から「Yuko も是非来るといい」誘われました。狭い談話室にたくさんの人が集まっていて、一緒に試験勉強をした学生さんもいました。中華のケータリングを食しながら、いろいろな人と話をしました。パーティーの終盤に数学科の学科長の先生が挨拶をしている時に、学生の一人が「Yuko あの先生の前でプレゼンしたら、仕事もらえるよ。仕事があれば、ここに残れるでしょ？」と嬉しいことを言ってくれ、20年前だったら本当にそうしたかも、と思いました。

(3) ピアノ

さて、プライベートの時間に英語以外で私が頑張っていたのは、ピアノでした。クイーンズカレッジの中には、Aarons Music School という音大があります。そこの先生のレッスンを受けたいと思い Steven 先生に相談したところ、音大学部長の Jane 先生を紹介していただき、Konstanza Chernov 先生のピアノのレッスンが受けられることになりました。私たちが生活していたサミット(学生寮)には、グランドピアノを備えた音楽室が2部屋あり、寮生は自由に利用することができます。また、音楽学校の練習室も交渉して使えるようになりました。アップライトピアノが置いてある小さな部屋がずらりと並んでいる他に、グランドピアノが置いてあるスタジオが5、6部屋ありました。レッスンは英語で進められますが、Konstanza 先生は、丁寧に説明していただき、毎回「言ってることわかる？」と確認して下さったので、英語で困ることはありませんでした。英語でのコミュニケーションの良い機会の一つでした。

ニューヨークに行ってから何度も自己紹介をする機会があり、そのたびに私は「趣味でピアノ弾きます。」と言っていました。ある日 Jane 先生から Eva 先生と私に e-メールが送られてきました。「Yuko コンサートを開く気はない？ Eva が Yuko のピアノを聞きたいと言ってるし、私も聞きたいわ」と。何人も演奏するようなコン

サートで出演者の一人として演奏したことはありませんが、まさか私がリサイタル？無理でしょ、と思っていたのですが、Konstanza 先生に Your decision だと言われ、やってみようと思心しました。先生と相談して曲目を決め、準備開始。夜遅くまで演奏可能でしたので、練習する時間もなんとか確保できました。

本番は12月11日音楽ビルディングの小さいリサイタルホールと決まり、知り合いに招待のメールを出しました。当日は研修仲間とニューヨークで知り合った人たち、30人くらいが集まってくれました。私の演奏の後、小林先生がアコーディオンの演奏を披露していただき好評を博しました。私の演奏はミスもしましたが、会心というわけにはいきませんでした。楽しんで弾くことができました。個人のリサイタルを開くなど、多分一生に一度の経験だったかと思



Recital

Yuko Ichikawa

Friday, December 11, 2015 6:00 pm
Aaron Copland School of Music
Queens College, CUNY

Recital Hall

Piano Sonata No.21 in C major, op.53
III. Rondo. Allegretto moderato - Prestissimo

L. v. Beethoven

Kinderszenen, op. 15
VII. Träumerei

R. Schumann

Ballade No.1 in G minor, op.23

F. Chopin

Beethoven: Piano Sonata No.21 in C major, op. 53 (Third Movement)

One of Beethoven's great middle-period works, this sonata is one of his most famous. It was dedicated to Count Ferdinand Ernst Gabriel von Waldstein and has thus acquired the nickname "Waldstein" as a term of endearment. At 543 measures, the 3rd movement is the longest in all of the Beethoven's sonatas. This C major work is powerful, clear and bright.

Schumann: Kinderszenen, op. 15 (VII: Träumerei)

Träumerei is the seventh piece of Kinderszenen's 13 pieces and the most famous of them. Träumerei means "dream." It is small, but very lovely.

Chopin: Ballade No.1 in G minor, op. 23

The Ballade No.1 is the masterpiece of Chopin's early period. Composed in his Paris era, it is nostalgic for his hometown in Poland. Of Chopin's four Ballades, each of them very poetic and dramatic, the Ballade No.1 is the most popular of them.

Yuko Ichikawa is a mathematics professor at the National Institute of Technology, Tokyo College, in Japan. She took piano lessons between the ages of 4 and 17, but stopped playing when she enrolled a college. About ten years ago, she started playing again, and is currently taking lessons with Professor Konstanza Chernov of Queens College.

います。Konstanza 先生その他支えてくださった方々、当日聞きに来てくださった人たちに、本当に感謝です。ニューヨークでの最高の思い出となりました。

一期生のある先生から「ニューヨークに行く前に、「Banana Fish」¹ は読むべき」と聞き、文

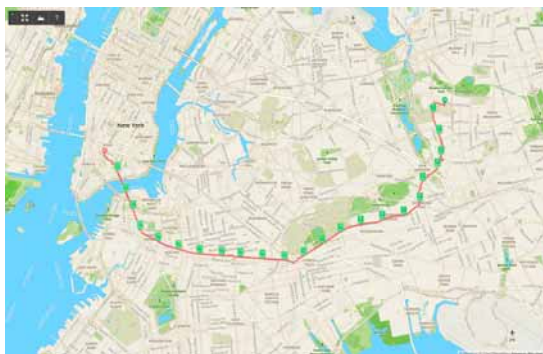
¹ 吉田秋生 1985~1994 小学館: ニューヨークを舞台としたハードボイルド。

庫本サイズの漫画 12 冊を無謀にも行きの手荷物に詰めて持って行きました。半年間、この話の舞台が私の生活の場でした。今はこのセリフの情景が目浮かびます。「Coney Island 行きのローカル F ラインは夜中の1時から5時までには運行していない」

ありがとうございました。

ニューヨーク彷徨を総括して

豊橋技術科学大学 秋葉友良



今回のウォーキングコース

感謝祭の翌朝、よく晴れた日でしたので、再びマンハッタンまでウォーキングを楽しむことにしました。実際、これまでにクイーンズカレッジからマンハッタンまで3回歩いたことがあり、今回で4度目になります。今回は、少し遠回りをして、地下鉄のJ/L ラインに沿って、クイーンズの南側からブルックリンの中央を通ってマンハッタンへと向かうことにしました。歩き始めた時は、いつものウォーキングの時の習慣で、お気に入りのポッドキャスト²を聴き始めました。しかし今回は、すぐに考え直し、再生を止めて、本稿の主題について考えることにしました。「我々はニューヨークで何をしたらのだろうか？」

我々は6月28日にクイーンズカレッジに到着し、すぐに English Language Institute(ELI)

² <http://allearsenglish.com>

で開講している英語学習コースに参加し始めました。1日に3時間のクラスを2つ、週に4日(月曜から木曜)出席しました。金曜日には、我々のために開講していただいたクイーンズカレッジ教員による研究紹介の講義を受講しました。また、大学での生活で知り合った、ELIの教師やクラスメート、QCの教員や学生達と知り合いになり、良い関係を築いていきました。これらの講義や生活を通して、毎日英語の環境に触れることで、日に日に英語の技量を高めていきました。

クイーンズカレッジから南へ向かいキューガーデンまで1時間ほど歩いた後、西へと進行方向を変えてマンハッタンを目指しました。ここからは、ニューヨークメトロのJ/Lラインに沿って進みます。メトロのこの区間は、地下を通らずに地上の高架線がクイーンズからブルックリンを抜けて走ります。高架線の下には商店街が続いており、それは私のニューヨークでのお気に入りの風景の一つです。様々なお店を覗き楽しみながら、ウォーキングを続けました。

我々の最初の転機は、8月中旬、ELI英語学習コースの終了でした。学期最後の試験を終えると、クイーンズカレッジでの最初のミッションを終えた充実感を感じることができました。

しばらく短い休暇を楽しむとともに、来るべき新たな挑戦へ向けて準備を始めました。

やがて煉瓦造りの古いアパートメントが続く住宅地街へと入って行きました。それを抜けると、多くの人々で溢れるショッピングストリートにたどり着きました。それによって、すでにブルックリンに到達したことに気づきました。今回のコースの約半分ほどを歩いたこととなります。

8月27日から、我々の第2のミッションが始まりました。月曜から木曜まで、クイーンズカレッジの秋学期にて開講する授業を受講することとなります。金曜日には、我々GFDメンバーのために特別に用意された2つの英語教育に関する授業を受講し始めました。これらの講義を通して、英語で教える技術を学んでいきました。さらに、メンバーの多くはELIで夜間に開講する英語学習コースを継続して受講することにしました。また、メンバーの何人かはクイーンズカレッジの課外クラブ活動に参加し、英語話者との関係構築を広げました。メンバー各々が、学習効率を上げるために自分自身の学習計画を模索していました。

昨日はジェニファー先生宅の感謝祭パーティに招待されてロースターキーをたらふく食べたはずなのに、マンハッタンブリッジ近くまでたどり着いた頃には、すっかり腹ぺこになりました。そこで、オリジナルチーズケーキで有名なレストラン³で遅めの昼食をいただくことにしました。ニューヨーク滞在中に見つけた私のお気に入りである、名物のステーキバーガーと、クラフトビール⁴を一杯、注文しました。レストランか

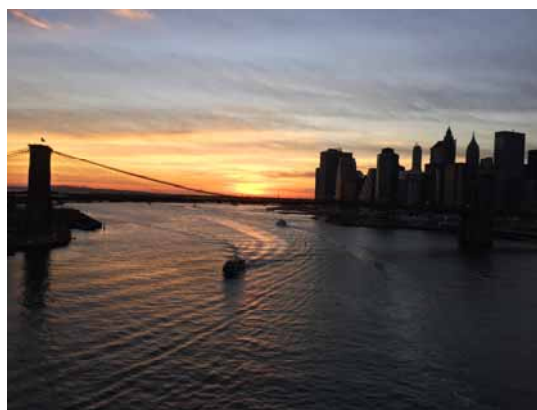
³ <https://www.juniorscheesecake.com>

⁴ <http://brooklynbrewery.com>

ら外を見ると、通りはすでにクリスマス用に綺麗に飾り付けられていました。しかし、12月25日には、我々はすでにニューヨークを離れているはずで

11月、続いて12月が訪れました。クイーンズカレッジで残された時間はもう僅かです。滞在の終わりに焦りを感じ始めます。我々は、12月18日の最終発表会に向けて、研修の成果をまとめ始めました。

昼食を食べ終え、再びマンハッタンブリッジに向かって歩き始めます。マンハッタンに入るためには、この橋を渡る必要があります。同時に、この橋の反対側にたどり着いた時にはこの旅も終わりなのだ、と考え始めました。マンハッタンブリッジの真ん中までたどり着いた時、ロングアイランドとマンハッタンを結ぶ雄大なブルックリンブリッジを眺めました。その背後遠くには自由の女神、そして夕焼けに染まる西の空が広がります。私はそこでしばらく立ち止まり、景色を目に焼き付け、そしてゆっくりと橋の終点に向けて歩いていきました。



夕暮れのブルックリンブリッジ。橋の向こう側遠くに自由の女神が見えるのですが、分かりますか？

豊橋技術科学大学
グローバル工学教育推進機構
国際教育センター
愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
Tel:0532-81-5161
Mail:unireform@office.tut.ac.jp



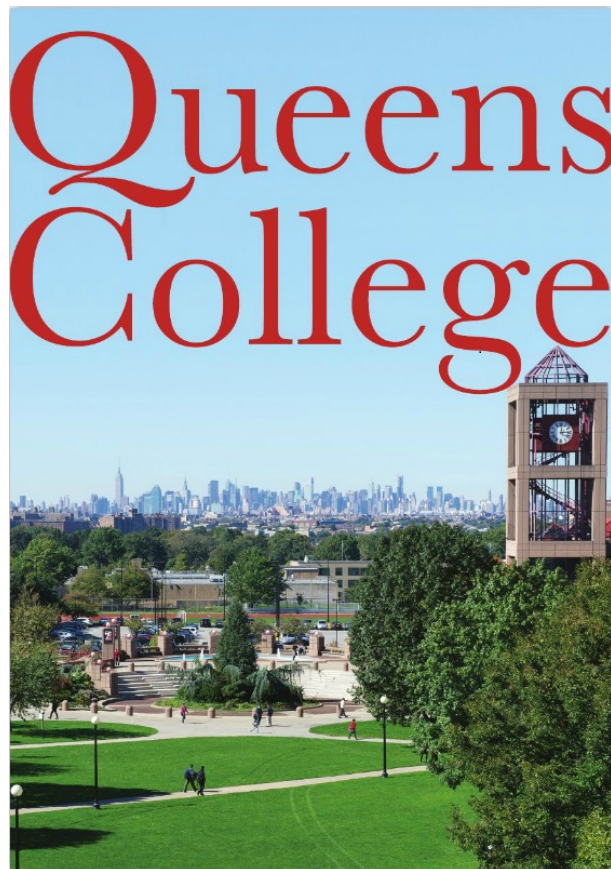
ignite

Institute for Global Network Innovation in Technology Education

**Toyohashi University of Technology,
Institute for Global Network Innovation in
Technology Education**

News from QC

(Vol. 20 2016/1/18)



■ Reports

Memories of New York Life

Yuko Ichikawa, National Institute of Technology, Tokyo College

We have already finished the training program in Queens College. In New York I spent priceless time; I met many people, experienced various things and strengthened bonds between the colleagues. These six months was a dreamy time for me. From among what I experienced, I'm going to write in this report about the wrap up presentation, studying with students and playing the piano.

(1) Wrap up Presentation

In our training program we attended the course named "Teaching in English". In this course under the theme of "Teaching in English" we discussed about how we embrace the diversity of cultures and how we use the educational technology, and we listened to the speech from the Japanese professors who are teaching in Queens College. And we had a 15 minute presentation with a free theme as a final assignment of the course. We already had had a 15 minute presentation at the end of the training in TUT. At that time I felt fear for talking in English in front of people but this time I didn't feel fear and prepared for it. We practiced the presentation in the TIE class just before the real stage. We borrowed a classroom and also practiced it voluntary outside of the class. Prof. Jennifer Valad took care of us and advised how we could improve it. The title of my presentation was "Mathematics in Music." I started talking about the relation between sine curves and sound, just intonation and equal temperament, why sound chords sound beautifully, and I introduced that these are the bridge to the Fourier analysis. My efforts paid off then and thanks to Jennifer, I had my best



Wrap up Presentation

presentation in the real stage and I was satisfied about it. I became to have a confidence to speak in English in front of people. I felt that I got closer to our goal that is teaching in English.

(2) Studying with students

My credit course was "Linear Algebra II", which was taught by Prof. Kenneth Kramer. He taught the classes with precise writing on blackboard and proper talking without a textbook. It was a shame that only less than ten students took this wonderful course. I got warm welcome from them and we gradually became to talk frankly. One day he asked me "Yuko, do you know the Japanese mathematician Hironaka?" Why don't I know? He told me that he learned calculus from Heisuke Hironaka, one of the most famous mathematicians not only in Japan but also all over the world.

During the semester we had two midterm exams, one report and the final exam. One of the classmates asked me "Hey Yuko, we are going to study together for the exam. Do you want to join us?" I said yes because it must be a good chance for English conversation. We studied together several times: in the classroom during weekends, in a common room of the

math department, and in the library. I mainly taught them because I'm a math teacher. "Yuko, check my proof," "I can't understand this proof" and so on. They tried hard to understand my poor English and said "Okay, I understood what you want to say." I still can't speak English fluently but anyway I could convey what I wanted to say.

By the way Prof. Kramer invited me to a party for the math department. At the party many people gathered in the common room and enjoy eating China food and talking. I had a lot of fun. Some students who studied with me were there. At the end of it when the chair professor of the math department addressed, one of the student said to me "Yuko, you should make a presentation to him, then you can get a job and stay here." I was very happy to hear that and thought if I were 20 year younger, I would do that.

(3) Piano

Another thing I worked on other than English is playing the piano. Queens College has a music school: Aarons Copland School of Music. Since I would like to take piano lessons from one of the professors at that school, I asked Prof. Steven about it. He introduced me to Prof. Jane Cho, who is the dean of the music school. She arranged things so that I could take a lesson from Prof. Konstanza Chernov.

In the Summit apartment where we lived there are two music rooms with grand pianos. Students who live in Summit may use them freely. In the music building there are many small practice rooms with an upright piano and several studios with a grand piano. I negotiated to use them and got a key to those rooms.

In the piano lessons Prof. Konstanza described how to play in many ways and always asked me, "Do you understand what I mean?" So I never confused at any time in her

lesson. Those were very good occasion for English communication.

After I went to New York I had many chances to introduce myself and always said, "Playing the piano is my favorite activity." One day Jane emailed Prof. Eva Fernandez and me: "Yuko, Please let me know if you would like to extend your concert to others... Eva would like to hear you play and so would I..." I have not had own recital except for the concerts in which I played as one of many participants. I'm not a professional and it was sheer arrogance to think that I should have my own recital. But Konstanza said, "It is your decision." So I made up my mind to have it. I decided pieces to play and started preparing for it. The fact that I



Recital

Yuko Ichikawa

Friday, December 11, 2015 6:00 pm
Aaron Copland School of Music
Queens College, CUNY

Recital Hall

Piano Sonata No.21 in C major, op.53 L. v. Beethoven
III. Rondo. Allegretto moderato – Prestissimo

Kinderszenen, op. 15 R. Schumann
VII. Träumerei

Ballade No.1 in G minor, op.23 F. Chopin

Beethoven: Piano Sonata No.21 in C major, op. 53 (Third Movement)

One of Beethoven's great middle-period works, this sonata is one of his most famous. It was dedicated to Count Ferdinand Ernst Gabriel von Waldstein and has thus acquired the nickname "Waldstein" as a term of endearment. At 543 measures, the 3rd movement is the longest in all of the Beethoven's sonatas. This C major work is powerful, clear and bright.

Schumann: Kinderszenen, op. 15 (VII: Träumerei)

Träumerei is the seventh piece of *Kinderszenen's* 13 pieces and the most famous of them. Träumerei means "dream." It is small, but very lovely.

Chopin: Ballade No.1 in G minor, op. 23

The *Ballade No.1* is the masterpiece of Chopin's early period. Composed in his Paris era, it is nostalgic for his hometown in Poland. Of Chopin's four Ballades, each of them very poetic and dramatic, the *Ballade No.1* is the most popular of them.

Yuko Ichikawa is a mathematics professor at the National Institute of Technology, Tokyo College, in Japan. She took piano lessons between the ages of 4 and 17, but stopped playing when she enrolled a college. About ten years ago, she started playing again, and is currently taking lessons with Professor Konstanza Chernov of Queens College.

could play even late at night made me able to practice much longer.

The location and date were decided at the beginning of December. I emailed and invited all the people who I knew in New York. At the recital about 30 people gathered and enjoyed my piano. After my performance, Prof. Kobayashi played her accordion and people also enjoyed it as well. To tell the truth, I was not satisfied with my performance so much because I had made some mistakes and I was not at my best. But I really enjoyed playing. It might be the only chance to have my own recital. I really appreciate everybody's help. Thank you for your help! Thank you for

coming! It is definitely the most precious memory during my New York Life.

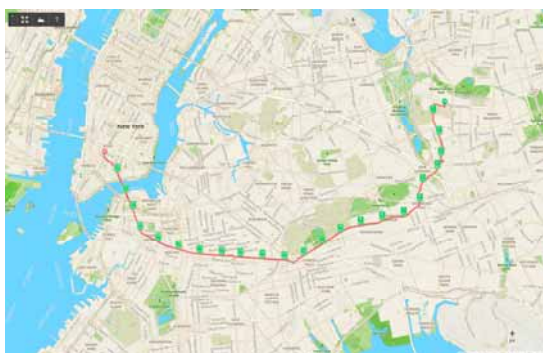
One of the teachers who attended this training course last year said to us "You should read 'Banana Fish'⁵" before you go to New York." So I dared to bring 12 comic books in the carry-on baggage. During six months, we lived in the scene of this story. I can imagine the scene; "The local train of F line to Coney Island stops running from 1 a.m. to 5 a.m..."

Thank you very much.

⁵ Akimi Yoshida, 1985-1994, Shogakkan. The hard-boiled story in New York City.

Wrap-up our roundabout walking in New York

Tomoyoshi Akiba, Toyohashi University of Technology



Today's walking route.

Since the morning following the thanksgiving day was fine, I decided to walk to Manhattan again. Indeed, I had already had a walk from Queens Collage to Manhattan three times, so it was my fourth trial. In this time, I planned to take a roundabout way to walk along with the J/Z line, which goes from southern part of Queens through the center of Brooklyn to Lower Manhattan. At the beginning, I started to listen to one of my favorite

podcasts⁶, as is usual with my walking. However, at that time, I suddenly changed my mind, stopped playing it, and started to think about the thesis for this article. "What have we done in New York?"

We first came to Queens College on June 28th, and started to join the English learning courses given by English Language Institute (ELI). We attended two sessions a day, Monday to Thursday a week. On Friday, we also attended the special lectures on various research topics provided just for us by the faculties. We built relationships with our ELI teachers, classmates, QC faculties, and students who came to be known at the campus. Through these classes and daily lives, we were exposed to English every day and, I suppose, improved our skills day by day.

⁶ <http://allearsenglish.com>

After walking to south from Queens College to Kew Gardens for nearly an hour, I turned to west toward Manhattan. From here, the route was along with the J/Z line of New York metro, which goes not underground but on an elevated railway on the way at Queens and Brooklyn. The shopping street is also running below it, which is one of my favorite scenes in New York. I enjoyed seeing a variety of shops and kept walking.

Our turning point was at the end of the ELI classes, the middle of August. After finishing the final exam of the summer semester, we felt a sense of fulfillment of completing our first mission at Queens College. We enjoyed a short holiday and started to prepare our forthcoming challenges.

The road came into a residential area where I saw many old-fashioned apartments built of bricks, then into a beautiful shopping street crowded with a lot of people. So, I noticed that I was already in Brooklyn, which meant I had passed the halfway.

From the August 27th, our second mission was started. It was to attend the regular courses in fall semester given by Queens College from Monday to Thursday. We also started to attend special English courses given just for us, GFD members, on every Friday. Through these classes, we learned the English skills focused on teaching. Furthermore, some of us attended the evening courses of ELI in order to improve our English further, while some joined extracurricular activities in Queens College to make further connection with English speakers. Each of us tried to grope our own training plan to increase the effect of our study.

Though I had had a lot of roast turkey at the thanksgiving party at Jenn's home yesterday, I found I was starving when I was almost by the Manhattan Bridge, which I had to go through to step into Manhattan. So, I decided to have my late lunch at a restaurant⁷ that is famous for serving its original cheesecake. I ordered the famous steak burger and a glass of craft beer⁸, both of which were my favorite I have found during my stay in New York. From there, I found that the street was illuminated with Christmas decorations. But, I knew that I would not be here in New York on Dec. 25th...

November, then December came. We noticed that we had almost run out of our time in Queens College and started to feel impatience with the end of our staying. We also began to sum up our achievements to present them at our final wrap up presentation on Dec 18th.

After finishing my lunch, I started to walk again and reached to the Manhattan Bridge. I was thinking that my trip would be completed when I got to the other end of the bridge. At the middle of it, I saw the great Brooklyn Bridge standing between the Long Island and the Manhattan. Behind it, I saw also the Statue of Liberty standing in the far distance and the western sky glowing with the setting sun. I was standing there and looking at them for a minutes, then, slowly walked towards the very end.

⁷ <https://www.juniorscheesecake.com>

⁸ <http://brooklynbrewery.com>



The Brooklyn Bridge at sunset. Can you find the Statue of Liberty standing far behind it?

Toyohashi University of Technology
Institute for Global Network Innovation in Technology Education
Center for International Education
1-1, Hibarigaoka, Tempaku-cho, Toyohashi, Aichi, Japan
Tel: +81-532-81-5161
Mail: unireform@office.tut.ac.jp